

令和 5 年 5 月 2 9 日  
政策経営部政策企画課

## 新たな外郭団体方針の策定に係る検討状況について

### 1 主旨

区では、平成 1 7 年に「外郭団体改善方針」を、平成 2 6 年には「外郭団体改革基本方針」を策定し、各団体の事業内容や規模を拡大してきたなかで、より効率的な団体運営を求める観点から、外郭団体の自主・自立に向けた人的支援や財政支援の見直しの取組みを進めてきた。

新型コロナウイルス感染拡大への対応による、区民行動の変容やこれまでにない社会経済状況変化のなか、多様化、複雑化、個別化するニーズへ対応し、時代に即したサービスを提供し区民福祉を向上するために、これまで専門的な分野において、区ができない事業等を積極的に展開してきた外郭団体の存在意義はより高まっており、将来に向けてその役割を最大限発揮していく必要がある。

こうした考えのもと、区では、「外郭団体改革基本方針」に次ぐ、令和 6 年度から 8 年間にわたる「(仮称)外郭団体将来ビジョン(令和 6 年度～令和 1 3 年度)」(以下「将来ビジョン」という。)を策定することとし、検討体制を設けて検討を進めており、これまでの検討状況を報告する。

### 2 「将来ビジョン」策定にあたっての視点

「将来ビジョン」では、これまでの取組みを土台としつつ、外郭団体が効率的で健全な経営のもと、区として各団体の位置づけや担うべき役割を明確化したうえで、区全体として区民福祉の向上を図るという視点から、それぞれの果たすべき方向性や取組みを示す。

### 3 検討体制及び検討状況

#### (1) 検討体制

区では、この間、各団体の状況や課題、役割、今後の方針、取組み内容を議論するため、外郭団体職員との意見交換をはじめ、財政や人事に関することを検討する専門部会を立ち上げ、また、外郭団体を所管する副区長と政策経営部長、外郭団体事務局長等の代表者で構成する「将来ビジョン検討会議」を設置し、検討を進めてきた。

## (2) 検討状況

検討体制のもと、各団体の設立目的や趣旨から、区における各団体の位置づけや担うべき役割、区と外郭団体との役割分担等について検討を行っている。また、外郭団体が直面している人事面、財政面での課題を踏まえ、各団体の独立性・自主性を維持・向上させつつ、その特性を十分に生かした事業展開が図れるよう、区の支援のあり方についての検討を進めている。

今後さらに議論を深め、外郭団体ごとの事業展開や見直すべき項目等も含め、「将来ビジョン」にまとめるとともに、前期4年間の年次別取組みを示し、計画的に実施していく。

### 各外郭団体の役割に関する検討

区が各団体へ求める役割と、その役割を踏まえた拡充すべき事業や区からの事業移管、それを支えるための組織体制や財政等の経営強化等について、検討を進めている。

### 人事面の課題に関する検討

多くの外郭団体で、人材育成・確保が大きな課題となっている。団体間の人事交流等による職員スキルアップや、区職員派遣の適正化に向けた考え方等について議論している。

### 財政面の課題に関する検討

外郭団体の自律的で持続可能な経営や、さらなる自主財源拡充が課題となっている。健全な経営を継続するための区からの支援のあり方や、寄附金等の自主財源獲得への取組み強化等について検討している。

## 4 今後のスケジュール（予定）

令和5年	9月	企画総務常任委員会報告（骨子）
	11月	企画総務常任委員会報告（素案）
令和6年	2月	企画総務常任委員会報告（案）
	3月	策定